

クルーズ客船の運航再開に伴う清水港の受け入れと安全対策について

日本の船会社が、令和2年11月から国内ツアーを目的としたクルーズに限定して運航を再開しました。

そのため、清水港でも、これらのクルーズ船が寄港する際には、対象となるクルーズ船が十分な感染予防対策を行っていることを確認した上で、船会社や関係者と協議して、安全な受け入れが可能と判断した場合に限り、客船の寄港を受け入れています。

(参考)客船の感染予防対策

日本の各船会社は、業界団体や各船会社が作成した感染防止対策のガイドラインを厳格に守った対策を取ることを条件に運航しております。

- 例・感染者が乗船しないようにするため、乗船前に2回、感染の有無の検査を実施
- ・密にならない対策として、乗客数の上限の設定、レストランや休憩スペースなどの座席数の制限、一部の船内施設やイベントの運用・実施を取りやめ など

なお、客船の受け入れを行う清水港でも、港湾管理者(静岡県)と関係者が、日本港湾協会の発行した感染拡大予防ガイドラインを遵守し、一般見学者や清水港の港湾施設等から乗船客・乗務員等に感染拡大が起こらないよう様々な対策を行った上で、客船の受け入れを実施しています。

清水港の岸壁における主な感染拡大予防対策

1 岸壁等への入場制限

客船寄港時には、乗船客・乗務員への感染拡大と一般見学者同士の感染予防のため、一般見学者の岸壁及び背後地への入場は禁止しておりますので、御協力をお願い致します。

ただし、客船離岸時のお見送りの際には、乗船客・乗組員と一般見学者の接触がない状況を確認したうえで、一般見学者の岸壁への立ち入りを一時的にできるようにいたします。

なお、寄港受け入れに対応する関係者は、寄港当日2週間前から検温や健康観察を行っており、寄港当日も検温及び手指消毒を実施するなど、感染症対策を徹底した上で、必要最小限の人数で入場し受入業務を行っております。

2 清水港客船誘致委員会による歓迎事業の制限

清水港客船誘致委員会では、感染拡大予防対策を徹底したうえで、岸壁上でのマルシェ及び観光案内を実施しております。また、客船出港時のみ、乗船客・乗組員と演者の接触がない状況を確認したうえで、お見送り演奏を実施しています。

◆邦船3社の感染症対策について

- 飛鳥II
https://www.asukacruise.co.jp/coronavirus_information/
- にっぽん丸
<https://www.nipponmaru.jp/infection/>
- ぱしふいっくびいなす
<https://www.venus-cruise.co.jp/info/infection.php>

国土交通省の監修したガイドラインについて

- (一社)日本外航客船協会「外航クルーズ船事業者の新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」令和4年3月18日(第六版)
<https://www.mlit.go.jp/maritime/content/001444739.pdf>
- 公益社団法人日本港湾協会「クルーズ船が寄港する旅客ターミナル等における感染拡大予防ガイドライン」令和4年3月18日(第六版)
<https://www.mlit.go.jp/common/001411299.pdf>

客船寄港予定日など、清水港の客船に関する情報は、清水港客船誘致委員会のHPを御参照ください。www.shimizu-port.jp/?vt=sp